

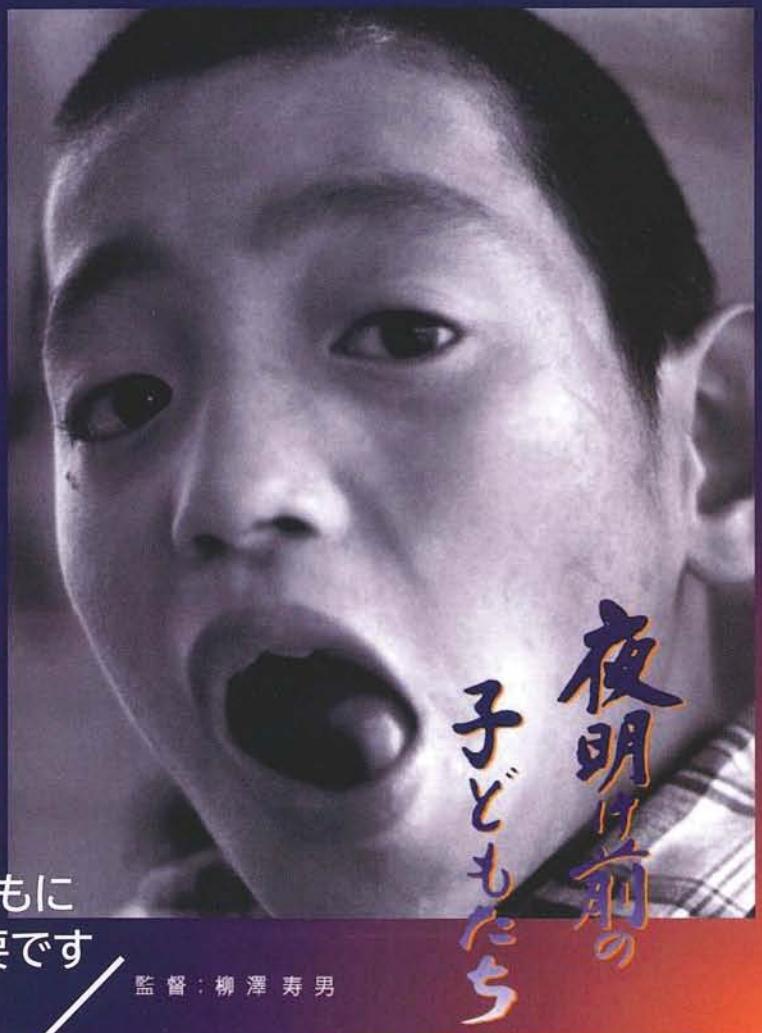
びわこ学園が創立60周年を迎えたことを期して映画上映会を行います

夜明け前の子どもたち

2024年3月2日(土) 14:00-16:00

西日本で最初に開設された重症心身障害児施設、びわこ学園。

手探りの療養から始まったなか、職員自身も葛藤しながらも
医療と教育の両面から子どもたちに働きかけます。



上映会・送迎車ともに
事前申し込み不要です



監督：柳澤 寿男

場所：野洲図書館（野洲市辻町410番地）

野洲駅からの送迎車有。

詳しくは→→

後援：野洲市・野洲市教育委員会・社会福祉法人野洲市社会福祉協議会

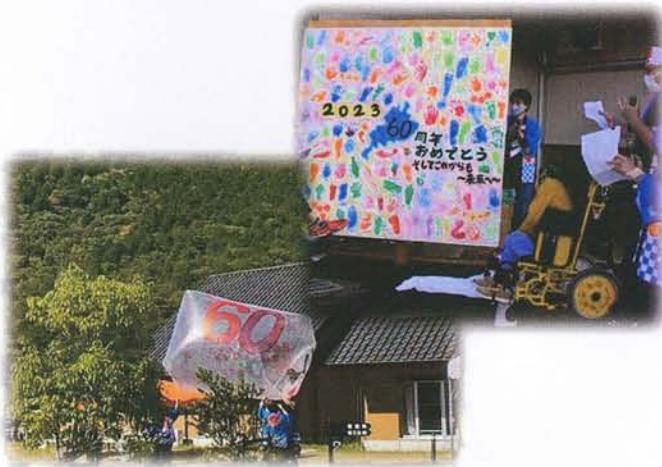
主催：びわこ学園後援会

共催：社会福祉法人びわこ学園



社会福祉法人びわこ学園について

昭和 38 (1963) 年 4 月、西日本で初めて重症心身障害（重い身体障害と重い知的障害を重複して）をもっている児童の入所施設として大津市の長等で誕生しました。令和 5 (2023) 年で創立 60 周年を迎え、「障害福祉の父」と言われている創始者糸賀一雄先生が提唱された「この子らを世の光に」を理念の柱として 2 つの入所施設を拠点（草津市・野洲市）に、入所、入院、外来、通所、相談、訪問支援など障害をもたれた方々の健康と生活を支援する事業を展開しています。



びわこ学園後援会について

びわこ学園後援会は、昭和 42 (1967) 年から「社会福祉法人びわこ学園の後援団体」としてびわこ学園への事業支援をはじめ、障害を持たれた方々への理解、啓発に向けて活動してきました。

上映映画「夜明け前の子どもたち」について



びわこ学園の療育記録映画「夜明け前の子どもたち」は、国際人権年に指定された 1968 (昭和 43) 年に完成されました。

以下は、当時のパンフレットに掲載されている糸賀一雄先生のことばです。

「(略) この子どもたちの基本的人権を守るところが、療育の現場ではどのように追求されていくかとしているのかを知っていただき、こんごの方向を多くのかたがたに考えていただきたいという願いで、この映画を作成しました。」

「(略) こんご上映をつづけていく中で、現場で働いている関係者に勇気を、それを支える多くの人がとに正しい理解を、中学以上の学生・勤労青年男女の人たちに歴史をつくる力を芽生えさせる一助になることを願っています」

また、この映画を撮られた柳沢寿男監督は、「発達保障との闘い」と題され綴られていました。

「私たちがカメラを持って参加しようとした行為ー闘いとは、「すべての人間の発達の権利を獲得する闘い」といえるでしょう。それはとても、むずかしい問題のようにみえます。けれども実は、びわこ学園の子どもたち、看護婦さんや保母さんたち、(略) 先生方の「日々の暮らし」のなかに、大きな流れとなって「発達保障の戦い」が展開されているのです。そういう「日々の暮らし」のなかには、当然「喜び」や「悲しみ」「希望」や「いらだち」(略) がいりまじって雜居しています。私たちスタッフも同じような情況をかかえています。ですからびわこ学園の職員相互の間に、職員と私たちスタッフの間に、いろいろ問題が起き対立が生まれたこともあります。そういう時、お互に発達を保障するとはどういうことなのかを改めて考え、びわこ学園の子どもに聞いてみました。(略) しかし、子どもはいつも、すなおに答えを用意してくれました。そして発達保障を受けているのはびわこ学園の子どもたちではなくて、実は我々大人たちだということをあらためて教わりました。」

この映画を通して、「いのち」の「大切さ」や「可能性」について一緒に考えていただければと思います。ご参加お待ちしております。

お問い合わせ
びわこ学園後援会事務局
TEL:077-587-1144